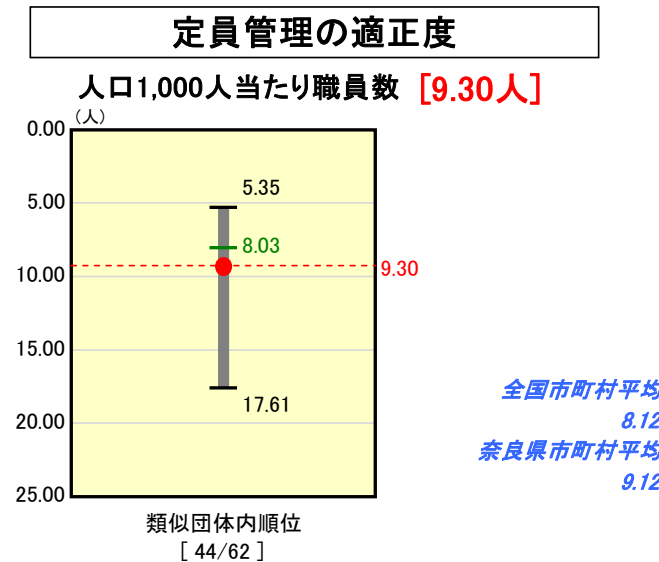
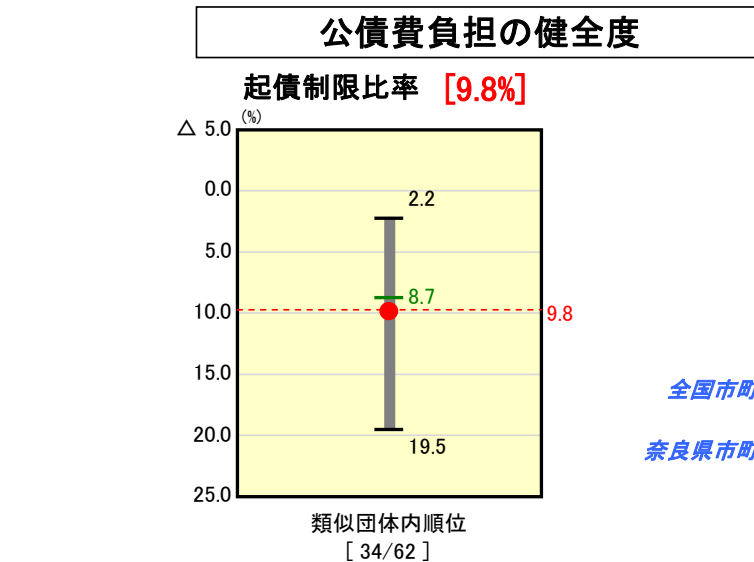
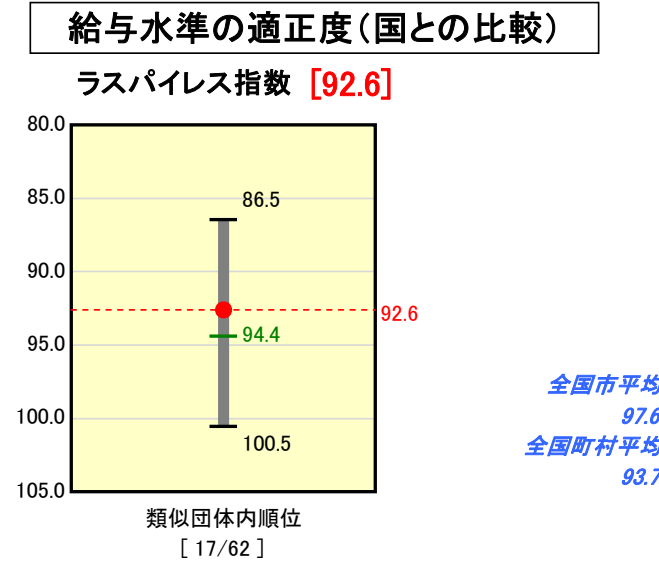
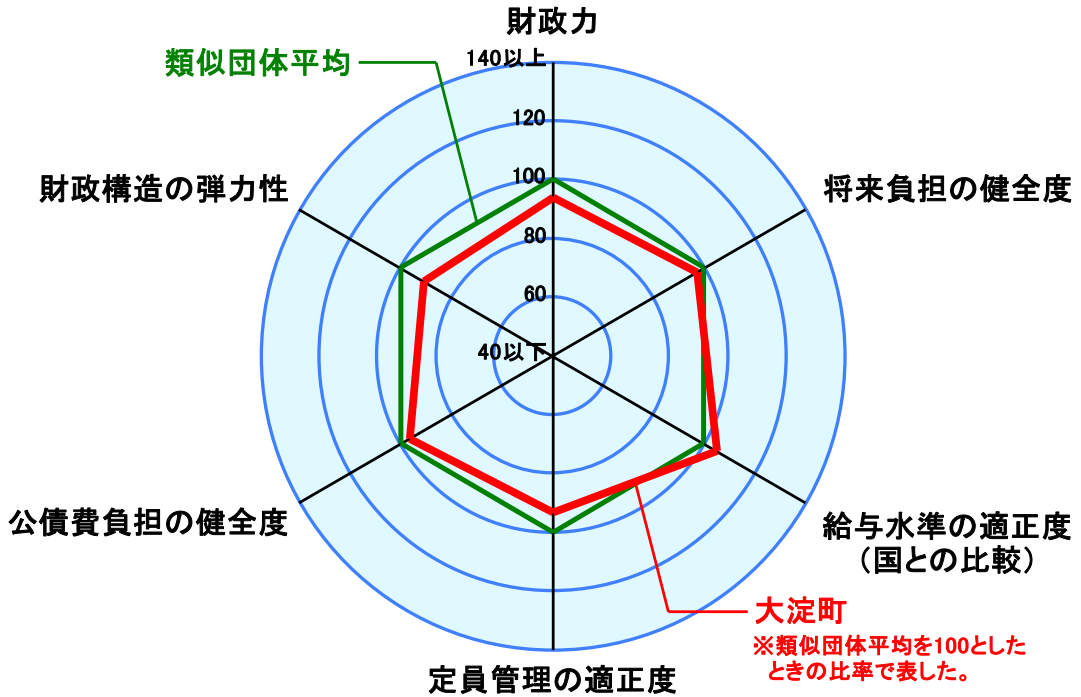
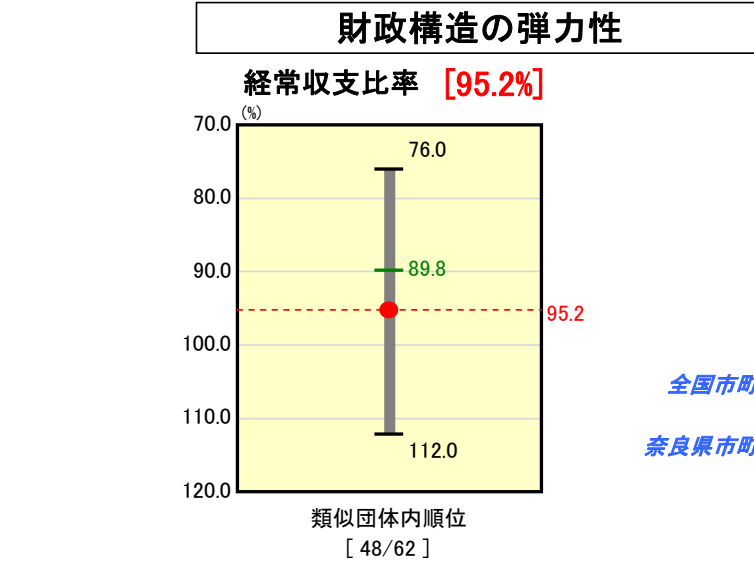
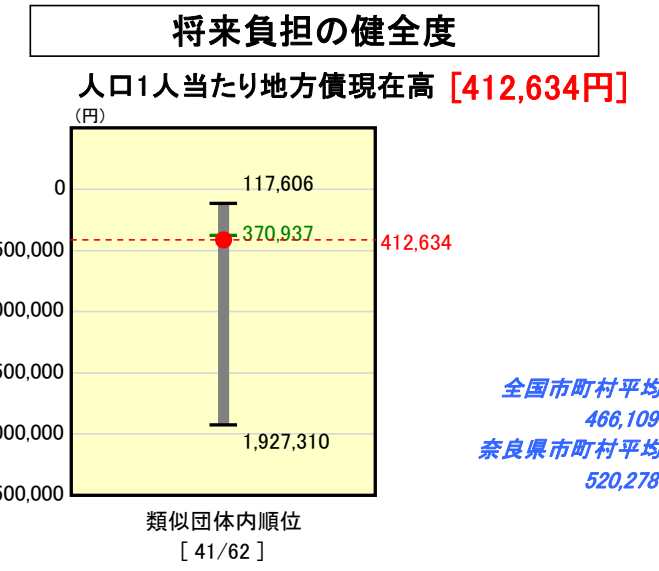
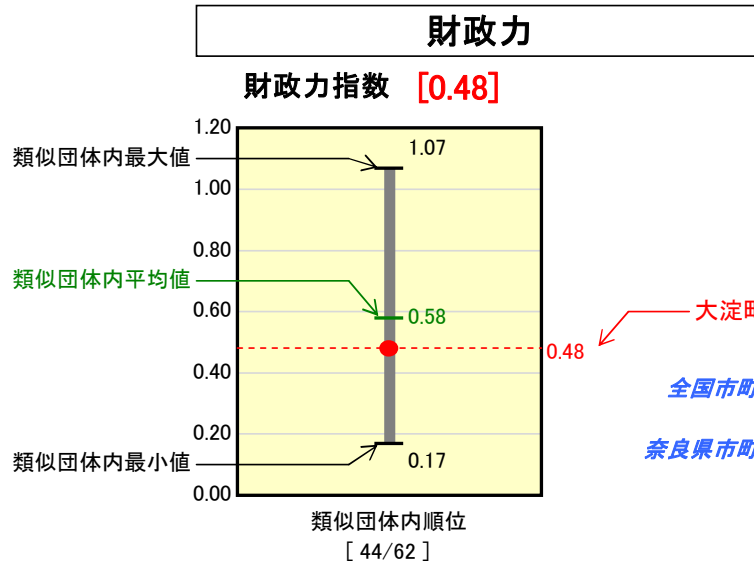


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

奈良県 大淀町

人口	20,545 人(H17.3.31現在)
面積	38.06 km ²
歳入総額	8,087,292 千円
歳出総額	7,918,501 千円
実質収支	79,278 千円



分析欄

財政力指数: 類似団体平均より低い。今後、歳出の削減、町税の徴収強化等の取り組みにより、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率: 類似団体平均より低い。福祉経費等の増加及び交付税等の減少により比率は年々悪化している。今後行財政改革を実施していくことにより経常的経費の削減に努めると共に、町税等の一般財源の確保に努め、水準を回復していく。

起債制限比率: 普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均よりやや高い。今度文化会館の償還終了に伴い、償還額が減少することで改善が見込める。また大規模事業を縮小することで、地方債発行額を抑制する。

ラスパイレス指数: 全国町村平均や類似団体平均と比較するとやや低いが、概ね適正な水準といえる。学歴別にみると大卒者の水準が低いのがこれは初任給基準が低いことによるもので、現状で根本的な改善を望むことは困難である。今後、定員適正化計画に基づき職員数の削減を図ることにより構成職員の平均年齢の上昇が予測されるが、適正な給与水準を維持できるよう努める。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体平均よりやや低い、概ね適正な水準といえる。今後文化会館の償還が終了することで公債費が大幅に減少するため、改善する見込みである。今後、後年度負担となるような事業は充分精査し実施していく。

人口1,000人あたり職員数: 類似都市平均よりやや低い。定員適正化計画に基づき、職員数の削減を図ることで水準に近づくよう努める。